

葛川小中学校だより

葛川小・中学校 学校だより 令和5年 臨時号 在籍児童・生徒数 47名 10月10日発行

4月18日に実施しました全国学力学習状況調査の結果をもとに分析を行いましたので、お知らせいたします。

【調査目的】

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【学校教育目標】

豊かな自然と強い絆のあるふるさとで、心豊かに学び、未来の創り手となるたくましい子ども

【教育の実践】

- 教育実践1 主体的に学ぶための個に応じたきめ細かな指導
- 教育実践2 人・地域とつながる力の育成
- 教育実践3 安曇川流域資源を生かしたアントレプレナーシップの育成

【中学校結果について】

全国正答率との比較において顕著だった問題及びその結果を踏まえた指導の改善策

<国語科>

全国平均を上回った問題

問1四：インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。

全国平均を下回った問題

問3二：漢字で書く。（おし量って）

<数学科>

全国平均を上回った問題

問6(1)：はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める。

全国平均を下回った問題

問3：空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ。

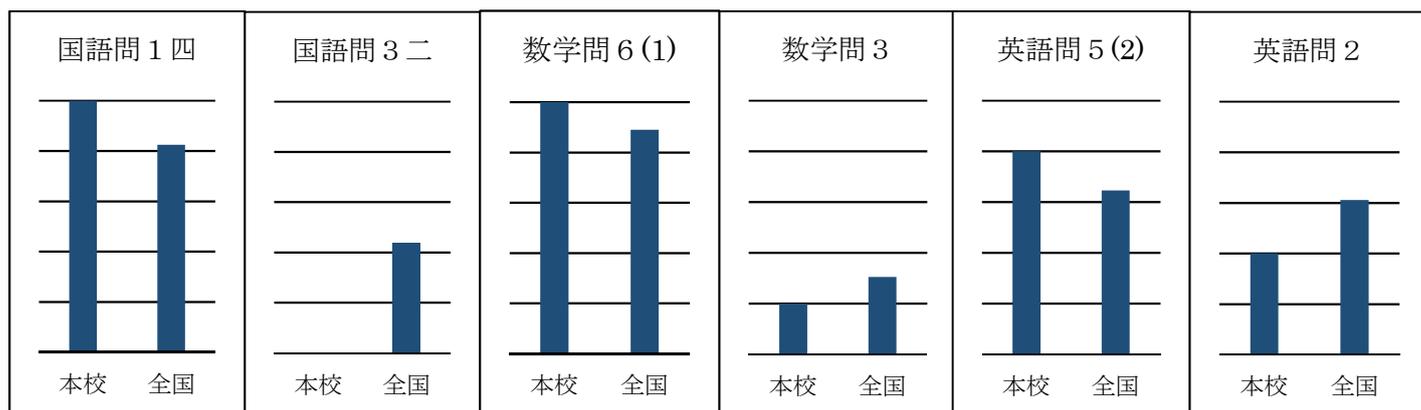
<英語>

全国平均を上回った問題

問5(2)：事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する。

全国平均を下回った問題

問2：忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する。



《国語の強み》

○聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることは全国平均よりも高かった。

《国語の弱み》

○普段、耳で聞いたり、口で話しているだろう言葉を、実際に漢字にして正しく“書く”ことができなかった。

《数学の強み》

○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかは全国平均よりも高かった。

《数学の弱み》

○事象を数・量・図形等に着目して観察し、空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解出来ているかどうかは全国平均より低かった。

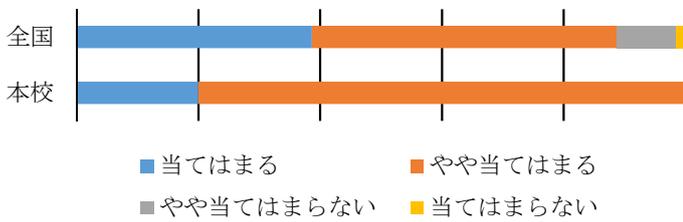
《英語の強み》

○「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかは全国平均よりも高かった。

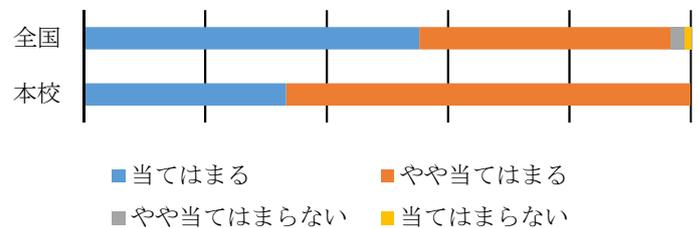
《英語の弱み》

○目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることはできているが、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることに課題がある。

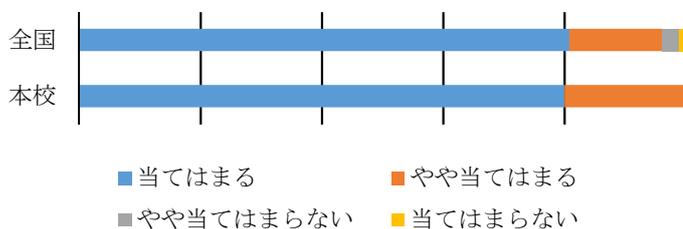
人が困っているときは、進んで助けていますか



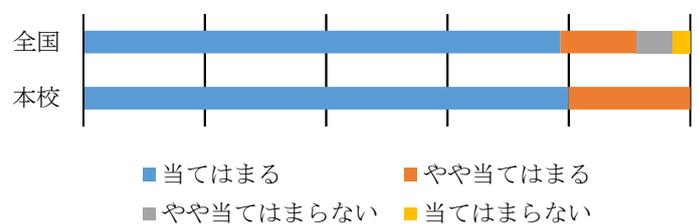
人の役に立つ人間になりたい



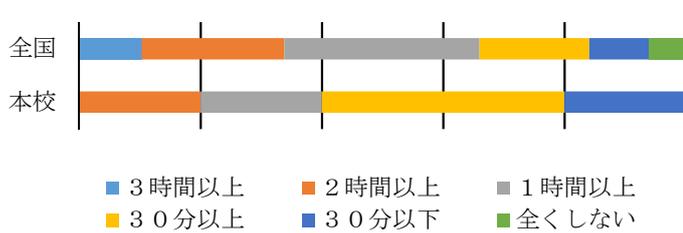
いじめはどんな理由があってもいけない



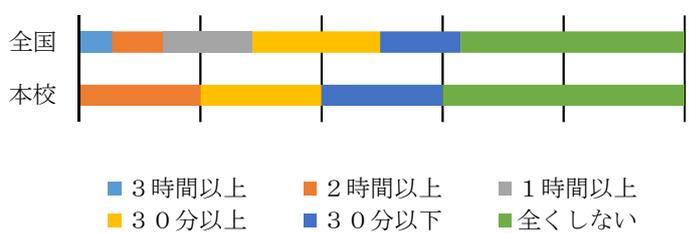
朝食は毎日食べている



1日あたりの家庭での学習時間



1日あたりの読書の時間



<生徒質問紙>

《強み》

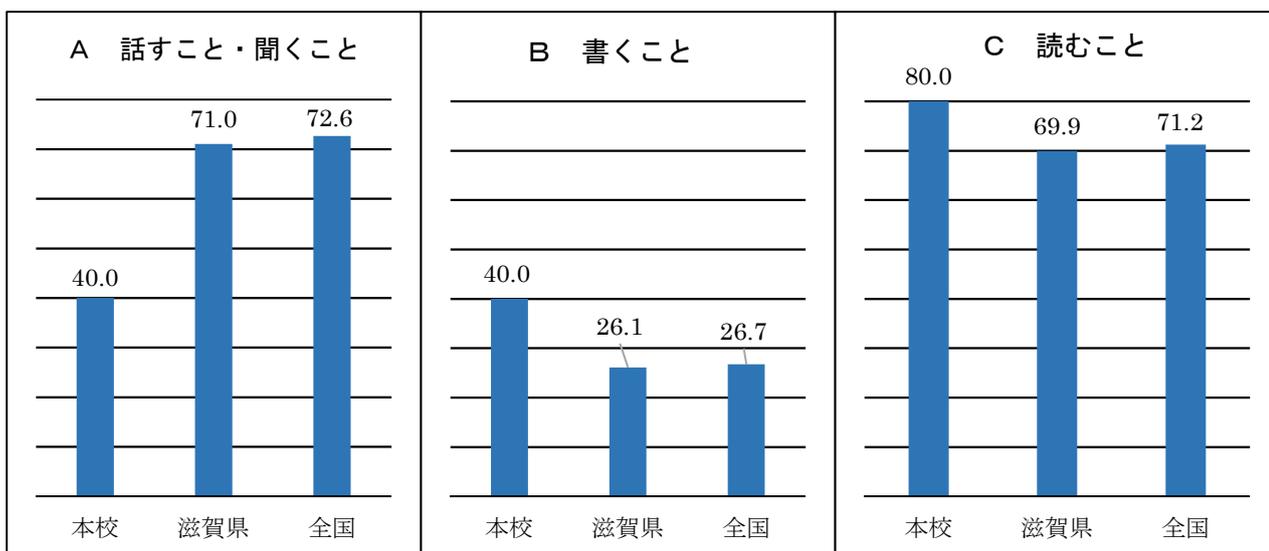
- 難しいことでも自らチャレンジし、失敗を恐れない。
- 困っている人を進んで助けるなど、人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 基本的な生活週間が身につく、食生活もきちんとしている。

《弱み》

- 平日一日あたりの読書の時間が30分以上読書に取り組んでいる生徒が全国よりも低い。活字離れの増加が顕著に表れている。
- 1日あたりの家庭での学習時間が少ない。

【小学校結果について】

全国と滋賀県の正答率との比較において顕著だった領域及びその結果を踏まえた指導の改善策

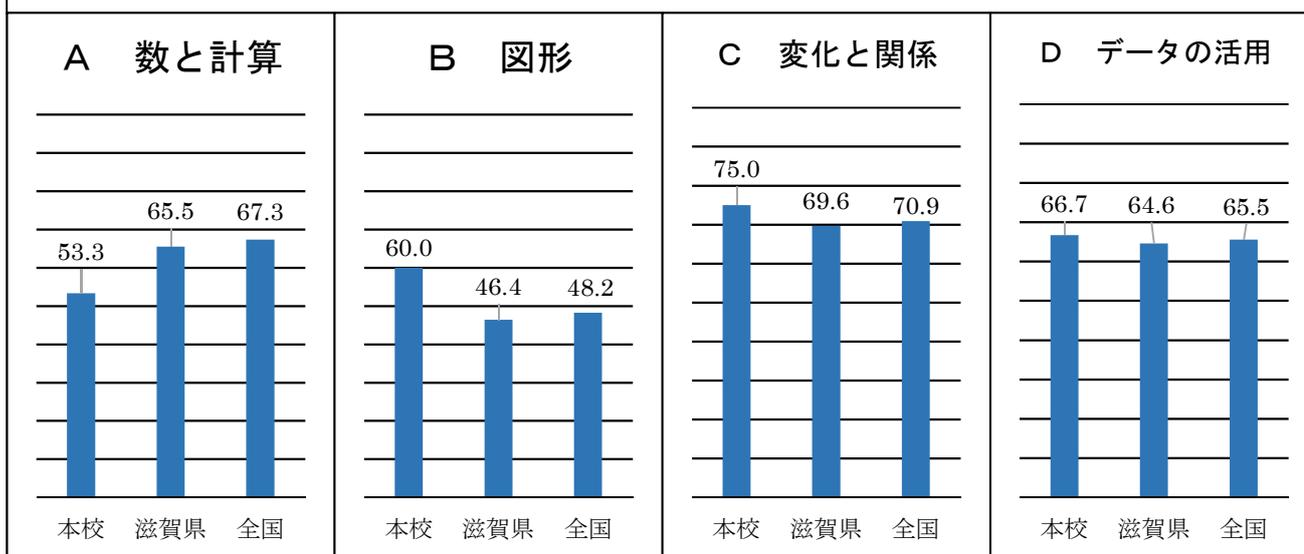


《国語の強み》

○資料を見て、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかは全国平均よりも高かった。

《国語の弱み》

○目的や意図に応じて内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られた。

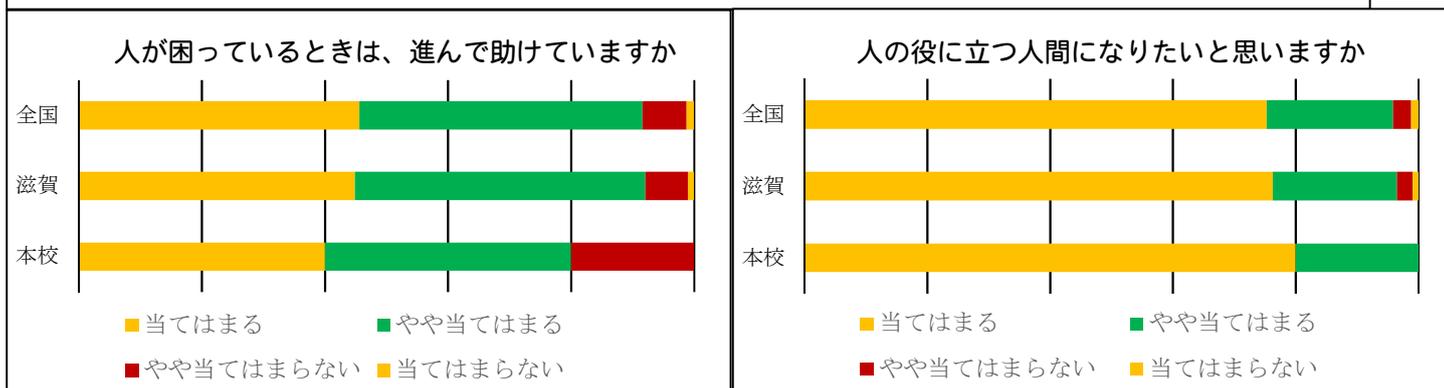


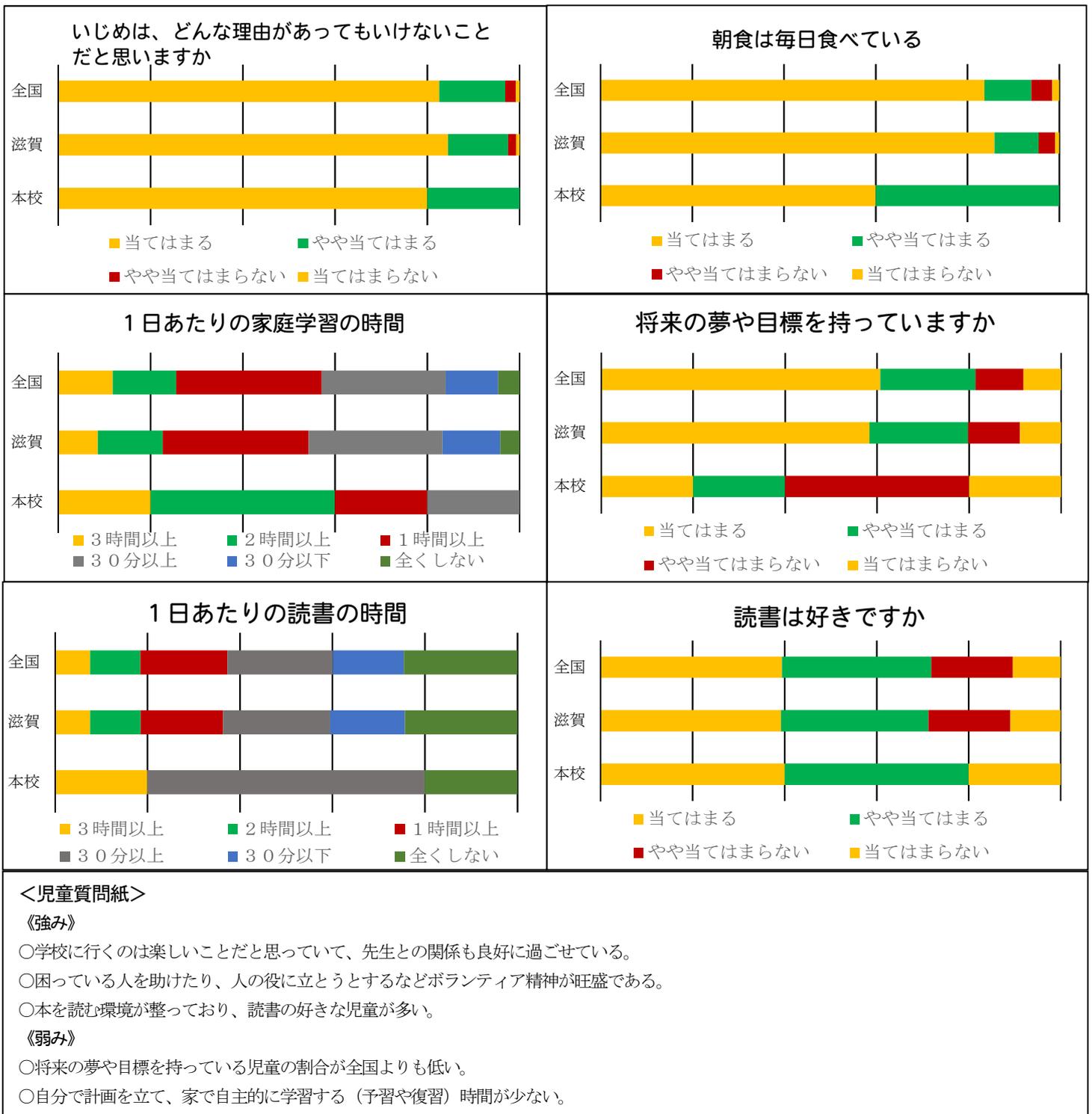
《算数の強み》

○「図形」や「変化と関係」について答えることは全国平均よりも高く、「データの活用」については全国と比べて差はなかった。

《算数の弱み》

○加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることや、（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることに課題が見られた。





【指導の充実に向けて】

- 葛川小・中学校では、以下の5つの観点を大切にした学習指導を進めていきます。
- 1 ユニバーサルデザインを意識し、ICTも活用しながら、規律ある授業を心がける。
- 2 学習目標を生徒が自覚し、振り返りによって身につけた力を実践できる授業。
- 3 自然を活用したアントレプレナーシップ教育の推進で、思考力・判断力・表現力を鍛え、その力を活用する。
- 4 少人数指導を生かし、基礎・基本を徹底する授業や繰り返し学習、補充教室の充実。
- 5 KCLを通じて、人とつながるためのコミュニケーション力の育成。

☆書くことに抵抗をなくし、書く力・読む力を伸ばします。

☆中学校では帰りの会で帰りの会学習の時間を設定し、基礎学力アップを図ります。

☆定期テスト前の質問教室や長期休業中の補充学習、身近な生活と授業内容を関連づけて考えることのできる授業展開を行い、活用力や教科への関心が高まるように工夫します。

☆ICTを活用して、教科の目標達成と情報活用能力の育成に努めます。